

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先： 備蓄企画部企画課 林 TEL:03-6758-8033
広報担当： 総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

福井国家石油備蓄基地における石油コンビナート等 総合防災訓練の実施について

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:河野博文)が国から委託を受けて管理している福井国家石油備蓄基地(福井県福井市石新保町、以下「福井基地」)および周辺海域において、8月9日(日)、平成27年度福井県石油コンビナート等総合防災訓練が実施されました。

本訓練は、福井県石油コンビナート等防災計画に基づき、福井臨海地区石油コンビナート等特別区域およびその周辺海域における各種災害を想定し、敦賀海上保安部・嶺北消防組合・陸上自衛隊第 14 普通科連隊・日本赤十字社福井支部など防災関係機関や特定事業所が参加して、海上ならびに陸上における総合的な訓練を実施しました。訓練参加機関相互が有機的かつ効果的に連携し、迅速で的確な災害応急対策を確保するとともに、特定事業所における防災意識の高揚および防災体制の強化を図ることを目的として行われました。

海上訓練は、「午前 8 時 30 分頃、福井県沖を震源とする地震が発生し、坂井市において震度 6 弱を観測、大津波警報が発表され、最大 7m を超える津波が到達。その後、福井港石油 1 号ドルフィンにおいて係留中のタンカーが津波により、岸壁に打ちつけられ、A 重油 10 キロリットルが海上に流出した」との災害想定で実施されました。

また、陸上訓練は「同地震による被害を点検中、10 時 30 分、福井基地原油タンク配管の亀裂・原油漏洩を発見、さらに、10 時 58 分、福井県嶺北地域を震源とする震度 5 強の余震により浮屋根が揺動し、発生した火花により原油に引火、リング火災が発生した」との想定で実施されました。

地震・津波情報、広報活動、船舶津波避難、航空機現状調査、現地災害対策本部設置、流出油拡散防止、タンカー火災消火、事業所自衛消防隊初期防御活動、防油堤補強・構築、負傷者救出救助、タンク火災消火および大容量泡放射システム運用訓練などが実施され、11 時 20 分頃無事終了しました(参加防災関係機関 26 機関、参加人数 約 460 名)。

■【福井国家石油備蓄基地の概要】

同基地は 1986 年 7 月に完成した、日本海側における初の国家石油備蓄基地です。貯蔵基地内に 30 基の原油タンクを有しており、現在、約 284 万キロリットルの原油を備蓄しています。

http://www.jogmec.go.jp/about/domestic_007-04.html



杉本福井県副知事への訓練開始報告



タンカー火災消火訓練で放水する福井国家石油備蓄基地防災船「新あすわ」(左)および「新おしま」(右)



「新すいせん」を火災タンカーに見立てて冲出し訓練をする「新おしま」



福井県防災ヘリ「ブルーアロー」による漂流者の吊上げ救助訓練



海上保安庁「えちぜん」搭載艇による海中転落者救助訓練



福井国家石油備蓄基地自衛消防隊による初期防御活動開始



陸上自衛隊重機等による道路障害物撤去



タンク冷却訓練



防油堤亀裂・崩壊箇所の防水シート・土嚢補強



日本赤十字社も加わった負傷者応急措置



大容量泡放射システムによる火災鎮火訓練



大容量泡放射システムによる火災鎮火訓練